

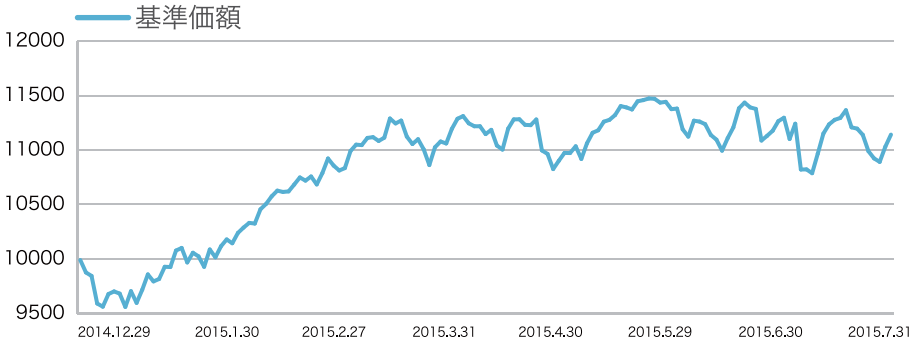


コモンズ30 +しずぎんファンド

〈月次報告書〉



● 基準価額の推移



● ファンドのデータ

(2015年7月31日付)

基準価額	11,141円
純資産総額	393百万円
受益権総口数	352百万口

● 基準価額の騰落率

(2015年7月31日付)

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	設定来
0.10%	1.32%	10.78%	11.41%

● ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモンズ30ファンド (マザー)	91.8%	0.4%
静岡銀行株式	8.2%	▲0.3%
現金等・その他	0.0%	0.0%
構成銘柄	31社	±0社

● 分配実績

初回決算未到来のため、分配金の実績はございません。なお、初回決算は2015年12月18日の予定です。

● 投資行動とパフォーマンス (コモンズ30+しずぎんファンド)

当ファンドは、コモンズ30マザーファンドを純資産総額の90%を組み入れ、静岡銀行株式を10%を上限として高位に組入れることを運用方針としています。7月末における各組入比率は、コモンズ30マザーファンド91.8%、静岡銀行株式8.2%です。当ファンドの月間リターンは0.10%の上昇となりました。なお、コモンズ30マザーファンドは0.23%の下落、静岡銀行株式は9.62%の上昇となっています。コモンズ30マザーファンドの運用状況については下記をご参照ください。

● 投資行動とパフォーマンス (コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

◎7月の組入銘柄 (組入銘柄数、新規買付銘柄・全売却銘柄の有無)

7月末の組入銘柄は、前月と同様に30銘柄となりました。「投資委員会」において、運用部は前月に引き続き全売却候補1銘柄を提案しました。提案銘柄について活発な議論が行われましたが、継続審議となっています。

◎7月のポートフォリオの構成比 (株式組入比率)

7月末の株式組入比率は99.5%となり、残りの0.5%程度は現金などを保有しています。株式組入比率は概ね99%程度を維持しました。

◎7月の組入上位10銘柄と投資行動

7月の組入上位10銘柄は、「ヤマトホールディングス」、「カカココム」、「資生堂」、「味の素」、「シスメックス」、「セブン&アイ・ホールディングス」、「クボタ」、「デンソー」、「ベネッセホールディングス」、「ユニ・チャーム」です。主な投資行動として、当ファンドに流入した資金を株価下落により組入比率が低下した「東京エレクトロン」や「コマツ」などの銘柄に投資しました。このような結果、当ファンドで保有する30銘柄の組入比率は最低2.8%～最大3.8%の範囲に収めています。

◎7月のファンド月間リターンとその要因

7月のファンド月間リターンは0.23%の下落となりました。あくまでご参考ですが、同月のTOPIXは1.79%の上昇となり、当ファンドはTOPIXを2.02%下回りました。主な要因としては、保有30銘柄の内、20銘柄がTOPIXを下回る月間リターンとなったことが挙げられます。なお月間下落率上位5銘柄は、「SMC(▲14.66%)」、「東京エレクトロン(▲11.69%)」、「リンナイ(▲9.12%)」、「ダイキン(▲8.96%)」、「日揮(▲8.35%)」でした。

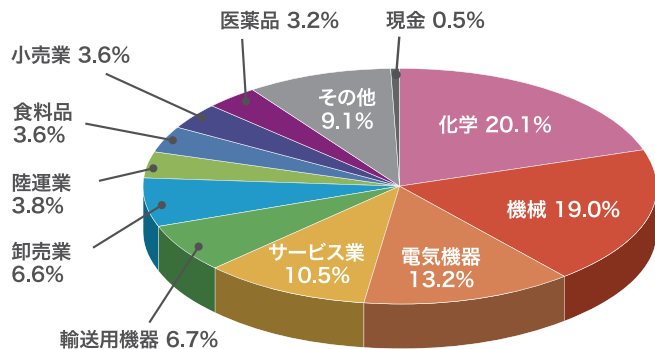
◎運用・調査体制について

是非、5ページ目をご確認下さい。

運用部長・チーフポートフォリオマネジャー 糸島 孝俊

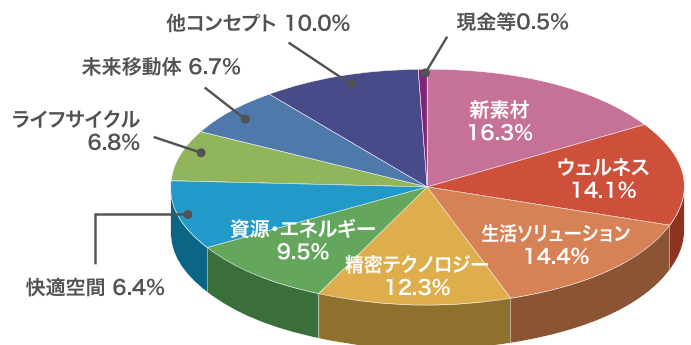
● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

◎業種別構成比



◎未来コンセプト別構成比

(2015年7月31日付)



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

※未来コンセプトは全10種類。詳細は5ページ参照

● 組入上位10銘柄(静岡銀行株式を除く)

(2015年7月31日付)

銘柄名 [コード]	業種	未来コンセプト	概要
ヤマトHD [9064]	陸運業	生活ソリューション	「クロネコヤマトの宅急便」で親しまれる宅配便業界のトップ。大型物流拠点を構築、電子商取引業者からの需要、B2B(企業間)の物流需要の取り込みなど総合物流企業へと変貌していきます。国内の当日配送エリアは拡大の方向、アジアへの生鮮食品の輸出増加なども期待されます。
カカコム [2371]	サービス業	生活ソリューション	価格.com(家電比較サイト)、食べログ(レストラン口コミサイト)など、利用者3,000万人以上のサイトを複数運営しています。今後も、インターネットユーザーの利便性を最重視し、旅行、不動産、映画など、新規領域での事業開発が期待されます。
資生堂 [4911]	化学	ウェルネス	巨大市場の中国、アジアで認められた美の感性、アジア人の肌を知り尽くした技術、おもてなしの心(接客力)が成長の牽引力となっています。
味の素 [2802]	食料品	ウェルネス	日本の昆布だしから抽出した「うま味」を発見、世界の食文化に合わせた、調味料や加工・冷凍食品、飲料などを提供しています。2050年の世界人口90億人時代を見据え、東南アジア、中南米、アフリカで販売ネットワークを構築、ネスレ、ユニリーバ、ダノンを追いかけしています。
シスメックス [6869]	電気機器	ウェルネス	血液検査機器では、国内第1位、世界第9位、特に血球計数分野では世界No.1の実力を誇ります。更に、赤血球分析から、免疫、DNAへ、大学、研究所、病院を顧客に急発展し、サステナブル企業として成長を続けています。
セブン&アイ・HD [3382]	小売業	生活ソリューション	変化への対応、基本の徹底という企業文化が浸透しており、オムニチャンネル、セブンイレブンの大量出店、北米でのコンビニ買収戦略、などでさらなる高みを目指しています。コンビニの中で、同社にびったりくる表現として、「ダントツセブン」、「流通革命の中で、良いポジションング」という感じです。
クボタ [6326]	機械	地球開発	長期的に世界の食糧需要が増加するなか、世界の競合企業に比べて、水田用、中小型の農機具で高い競争力を持っています。今後は、特にアジアでの成長が期待されます。
デンソー [6902]	輸送用機器	未来移動体	1949年にトヨタ自動車から分離独立し「日本電装」として創業。自動車市場の拡大や自動車のモジュール化(複数の機能をまとめた部品にすること)などが追い風となります。今後の成長が期待される自動運転では、ソフトウェア開発に注力するとともに、技術力を武器に強みを発揮していく見込みです。
ベネッセHD [9783]	サービス業	ライフサイクル	日本の通信教育事業において、圧倒的なシェアを誇ります。国内教育事業で培った知恵を用い、海外展開(台湾、中国、韓国)と事業領域拡大(介護、語学)で、変化し続ける環境を乗り越えて成長を目指しています。
ユニ・チャーム [8113]	化学	ライフサイクル	これまで培ってきたマーケティング力を生かし、新興国ではトイレタリーで、先進国ではペットケアでの成長を目指しています。経営の仕組み化や、他社から学び継続的改善をおこなっていることは、強みの一つです。

● 新規組入投資先

なし

● 今月のピック!

7月はSMCの株価が6月末比で14.66%下落と大幅に下落しました。中国やアジアでの設備投資需要減速によって、業績悪化懸念が台頭してきたためです。7月下旬の業績予想の下方修正によるファンク株の急落も、同じ機械セクターであるSMC株にネガティブに働きました。SMCは自動化のキーデバイスである空気圧機器を手がけ、世界シェアトップの高収益高成長企業です。ただ、株式市場では株主還元と比較的消極的な会社との見方も存在します。会社側業績計画に基づいた今期の配当性向は13.4%と低い水準にあり、株価の下支え要因も乏しい状況です。オーナー色の強い会社ですが、ガバナンスの強化に向かっている点をコモنزでは注目しています。同社は6月下旬の株主総会で、独立社外取締役を1名選任し2名体制にしました。新任の独立社外監査役も選任しています。今後、株式市場との一段の対話の強化が期待されます。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

● 企業との対話

【こどもトラストセミナーでクロネコヤマトの羽田クロノゲートに行こう!】

8/2(日)、コモنزこどもトラストの夏休み企画として、投資先企業であるクロネコヤマト様にご協力いただき、羽田クロノゲートツアーが実現しました!

「こどもトラスト」を利用いただいているお客様から5月に申込を開始いたしました。あっという間に満員御礼となった人気企画。当日は猛暑の中、11組の親子の皆様に参加いただくことができました。



羽田クロノゲートは、ヤマトグループが「物流の改革」の実現を目指しその中核を担う施設として羽田空港に隣接した最大級の総合物流ターミナルです。見学エリアでは、コンピュータで管理された仕分けエリアで1時間に最大48000個の荷物の仕分けができる最新のコンベアシステムを目の当たりにし、子供たちも大興奮。その他、家電の修理や手術道具の洗浄も行える付加価値機能エリアの紹介などもあり、まさにヤマトグループが目指す「物流の改革」を体感させていただくことができました。見学後には、ヤマトホールディングスIR戦略担当の社員の方にご協力いただき、ヤマトさんへの質問タイムも実現。かわいい投資家たちが「仕事は楽しいですか?」「つらいことはありますか?」という質問から「今日の見学で、大きくなったらヤマトさんで働きたくなりました」(!)などの発言まで飛び出しました。

そもそもこうした取組をコモنزが行うのは、「こどもトラスト」が単なる将来の教育資金作りにとどまらず、投資されたお金がその企業への「応援」となって大きく育ち、社会のため、人のために使われていくことを体感しながら学んで欲しいという想いがあるからです。今回、ヤマトさんの協力により、まさにそうした機会を作ることができたのではないかと考えております。

最後には、小さな投資家たちからヤマトホールディングスの社長さんにお手紙も書かせていただきました。次回は、そのお手紙も紹介していきたいと考えております。

改めて、今回の見学ツアーに参加いただいた親子の皆様、そして、貴重な機会を作ってくださいましたヤマトホールディングス様、本当にありがとうございました!

マーケティング部 福本 美帆

●メディアに登場!

日付	掲載メディア	ニュース
7月3日	日経電子版	「株、銀行株が映す変化の兆し 外患もくすぶる買いのマグマ」で糸島がコメントしました
7月6日	日経新聞	「就職先選び」「財務」を見よう」でコモンズ投信が紹介されました
7月9日	日経電子版	「株、上海株安が飛び火 換金売りで下げ拡大、売買代金膨らむ」で糸島がコメントしました
7月12日	日経電子版	マネーブログカリスマの直言に「ギリシャ危機、思考停止の日本でいいのか」と題し渋澤が寄稿しました
7月13日	日経電子版	「中国株バブル破裂 曇る株高シナリオ」で伊井がコメントしました
7月13日	日経DUAL	渋澤健 チェンジメーカー7つの感情 最終回「仕事の喜びを知ってしまった女達の「欲」」が掲載されました
7月22日	BSジャパン	「モーニングプラス」に糸島が出演しました
7月25日	日経電子版	「いまもあせない本多流運用法 専門家はこうみる」で渋澤がコメントしました

●ちょっといい話

◎コモンズ流の企業との対話



夏休み、真っ只中ですね。

そんな中、コモンズ投信では、投資先でもある「ヤマトホールディングス」さんの「羽田クロノゲート」に、お客さま親子の方々をお連れしました。巨大物流ターミナルとしてCMにも出てくる人気のスポットです。

施設を見学後、子どもたちと一緒に、ヤマトさんの方々との対話を行いました。意見交換会です。宅急便の利用者としての意見、ファンドの受益者としての意見、さらには将来の職業としての子どもたちからの意見。ヤマトさんからも一つ一つ丁寧に答えいただきました。

私からは、ヤマトさんに投資している意味について。「おじいちゃん、おば

あちゃんが、可愛いお孫さんにプレゼントを送りたい。そんな時に、物を運ぶだけでなく、お孫さんへの想いも乗せて配送するのがヤマトさん。」

ヤマトさんの社訓には、「運送行為は委託者の意思の延長と知るべし」とあるからです。それが企業の文化。そんなヤマトさんの想いを株主として応援するのがコモンズ投信とファンドの受益者の皆さん。こうしたお金と想いの循環を、参加された子どもたちにも説明させていただきました。

最後は、子どもたちに、ヤマトホールディングスの山内社長宛てにサンクスカードを書いていただきました。参加者のお子さまからは「大人になったら、ヤマトで働きたい!」との宣言までありました。

これまで、日本の投資家はどちらかというと、「モノ言わぬ株主」とされていましたが、コモンズ流の対話とは、コモンズ投信と企業の対話に加え、ファンドの受益者の皆さまと企業との対話による価値創造です。このミーティング終了後の記念撮影での皆さんの笑顔が、まさに「コモンズ流の対話」の真骨頂です!

いずれは、静岡でもこうした企業との対話を企画したいと考えています。



コモンズ投信株式会社
代表取締役社長 伊井 哲朗

● コモンズ流投資判断(コモンズ30マザーファンド)

「投資委員会と運用部」

- 新規組入投資先と全売却投資先の決定は、投資委員会での全員一致が原則
- 20%以上の現金比率についても、投資委員会で決定
- メンバーと役割は以下の通り

伊井 哲朗	代表取締役社長 最高運用責任者	・投資委員会議長 ・10~20%の現金比率の決定
渋澤 健	取締役会長	・非財務的な企業価値を含む経営の視点
糸島 孝俊	運用部長 チーフポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案 ・組入先ウェイトのリバランス(2%~4%) ・10%以下の現金比率の決定
上野 武昭	運用部 シニアアナリスト	・新規組入・全売却の投資委員会への提案
鎌田 聡	運用部 シニアアナリスト 兼 ポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案

「投資先選びのプロセス」



● 未来コンセプトについて

当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

コモンズ流未来コンセプト10				
資源・エネルギー	新素材	精密テクノロジー	ウェルネス	生活ソリューション
社会インフラ	未来移動体	快適空間	地球開発	ライフサイクル

● コモンズ30+しずぎんファンドの費用について

購入時手数料	指定販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

● コモンズ30+しずぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

● お申込みメモ

信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

● 販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
(株)静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○		
マネックス証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第10号	○			